

塩竈市議会だより

平成30年 6月定例会号

- 議案審議の概要、人事、意見書、請願 P 2
- 常任委員長報告 P 3
- 討論 P 4
- 市政に対する一般質問 P 5～9
- 議案等賛否一覧表等 P 10

編集発行 宮城県塩竈市議会報編集委員会 tel 022(355)6793 Aug.2018 (平成30年8月)
ホームページアドレス <http://www.city.shiogama.miyagi.jp/shise/shiogamashi/index.html>

塩竈みなと祭



定例会のあらまし

平成30年6月定例会は、6月14日から26日までの13日間の会期で開催しました。

本会議の初日では、市長より提出議案の説明を受け、総括質疑後、所管の常任委員会にそれぞれ付託しました。また、人事案件1件に同意し、さらに議員提出議案1件を即日審議の上、原案のとおり可決しました。

各常任委員会は3日間開催し、付託した議案及び継続審査中の請願の審査を行いました。

本会議2日目と3日目は、8名の議員が市政に対する一般質問を行い、市当局の見解をいただきました。

最終日には、各常任委員長から審査結果の報告を受け、議案8件を可決、継続審査となっていた請願1件を採択しました。

また、議員提出議案1件を即日審議の上、原案のとおり可決し、閉会しました。

(議案の件名と審議結果は10ページ)

定例会会議日程

| | | |
|-----|-------|--|
| 本会議 | 6月14日 | 会期の決定、諸般の報告、議案説明、総括質疑、議案付託、人事案件採決、議員提出議案審議及び採決 |
| 委員会 | 6月18日 | 総務教育常任委員会 |
| 委員会 | 6月19日 | 民生常任委員会 |
| 委員会 | 6月20日 | 産業建設常任委員会 |
| 本会議 | 6月21日 | 市政に対する一般質問 |
| 本会議 | 6月22日 | 市政に対する一般質問 |
| 委員会 | 6月25日 | 議会運営委員会 |
| 本会議 | 6月26日 | 各常任委員会委員長報告、議案審議・討論及び採決、請願審議及び採決、議員提出議案審議及び採決 |

補正予算3億2855万9千円可決

6月定例会の一般会計補正予算額は、3億2855万9千円で、補正後の予算総額は、504億4557万5千円となりました。

主な事業は次のとおりです。

一般会計

〔補正額〕

3億2855万9千円

1 復興交付金事業

〔補正額〕

2億5801万3千円

①東日本大震災復興交付金基金費
(補正額2億2982万5千円)

子育て支援施設敷地関連取得事業に係る第21回東日本大震災復興交付金申請額の基金積立

②西塩釜駅自由通路エレベーター整備事業
(補正額2818万8千円)

西塩釜駅自由通路へのエレベーターの整備に向けた測量調査及び実施設計業務委託

2 災害関連事業

〔補正額680万円〕

①災害救助費
東日本大震災により被害を

受けた世帯に対し、生活再建に必要な資金としての災害援護資金貸付事業



西塩釜駅自由通路へのエレベーター整備 (左：錦町側 右：佐浦町側)

3 通常事業

〔補正額6374万6千円〕

①コミュニティ助成事業 (推進体制整備事業)

(補正額250万円)

一般コミュニティ助成事業の採択に伴う予算計上の採択に伴う予算計上

②小規模保育整備事業

(補正額4633万8千円)

小規模保育事業を行う施設の整備費用の一部を補助

③保育所管理運営事業費

(補正額100万円)

寄附金を活用した市内公立保育所の環境整備

④生活保護事務費

(補正額92万9千円)

生活保護基準の改正に伴うシステム改修

⑤養育医療給付事業

(補正額857万2千円)

生活保護受給世帯の未熟児の治療に要する医療費を公費負担

⑥観光物産振興費

(補正額80万円)

浦戸諸島海岸清掃事業

⑦通学区域特例に係る通学費補助金

(補正額40万7千円)

浦戸小中学校に通学区域外から通学する児童・生徒の通学費補助

⑧小学校管理費

(補正額160万円)

寄附金を活用した浦戸小中学校備品等及び市内小学校の跳び箱等の整備

⑨中学校部活動備品等整備事業

(補正額160万円)

寄附金を活用した市内中学校の吹奏楽部活動における楽器の整備等

地方債補正

地方債を追加し、災害援護資金貸付金の限度額を680万円としました。

条例

塩竈市市税条例の一部を改正する条例外5件が上程され、可決成立しました。

意見書

今定例会で審議した意見書は次のとおりです。

○可決したもの

▼障がい者及びひとり親家庭を対象とした医療費助成制度における国民健康保険に係る国庫負担減額調整措置の廃止及び医療費助成制度における現物給付方式への導入推進を求める意見書

請願

今定例会で審議した請願は次のとおりです。

○採択したもの

▼「日本政府に「核兵器禁止条約」への速やかな署名と批准を求める意見書」の提出を求める請願

人事

次の人事案件に同意いたしました。

○農業委員会の委員の任命

- 島津 功 氏
- 佐藤 義 男 氏
- 内海 光 雄 氏
- 鈴木 宏 明 氏
- 大塚 祐 市 氏
- 佐藤 光 良 氏
- 加藤 信 助 氏

常任委員長

報告

6月定例会において、議案8件を各常任委員会に付託し、慎重に審査が行われました。委員長報告の要旨は次のとおりです。



総務教育常任委員会

委員長 鎌田 礼二

◎議案第44号、第49号、第51号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市公共施設再配置計画 審議会設置条例についての要望意見」

○塩竈市公共施設再配置計画 審議会の設置に当たっては、様々な行政課題を踏まえて審議する必要があることから、行財政、税・会計制度、建築などの専門的な知見を有する委員の選任について考慮され、

また、市民団体・利用団体等からの意見を幅広く集約し、審議会に対してその情報提供に努めながら、最大限効果的な調査・審議等が行われるよう努力されたい。さらに、全

員協議会等の場を設け、議会に対して審議状況についての報告・説明を行うとともに、各議員からの意見の聴取を積極的に行い、審議会へ報告するなど、議会との関係性を十分に考慮されたい。

○今回の公共施設再配置計画の策定に当たっては、長期総合計画や行財政推進計画などの上位計画との整合性を図るとともに、計画期間である30年間で、社会情勢や財政状況、市民ニーズの変化等を十分に把握され、現状に即した計画への見直しに努められ

るなど、実効性のある計画とされたい。

○当該計画の策定に当たっては、特別委員会の設置により審査すべきであるとの意見が出されたことを申し添える。

「一般会計補正予算要望意見」
○小中学校活動用品等の整備については、寄附金を活用し、小学校のスポーツ活動等に必要な備品や中学校部活動用品の購入・整備を行うものだが、

今後とも児童・生徒のニーズを十分に把握され、引き続き、教育環境の充実に努められたい。



民生常任委員会

委員長 西村 勝男

◎議案第45号及び議案第50号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「一般会計補正予算要望意見」

○災害援護資金貸付事業は、関係する省令の一部が改正され、申請期限が1年間延長されたため、補正予算を計上するものであるが、貸付を受けてから償還が開始するまでに6年間の据え置き期間があることから、償還される方々の現況確認や償還計画表の通知と併せて償還の相談を早期から行いながら、償還が円滑に行われるよう努められたい。

○小規模保育整備事業については、入所する児童の3歳以降の保育が切れ目なく行われるように、市が責任を持つて入所者の利用調整を行われたい。

また、既存の施設に併設することとなるため、事業認可

の際には、児童の安全面や周辺環境も併せた確認を行われる等、安心して子供を育てることができる環境の整備に努められたい。



産業建設常任委員会

委員長 志賀 勝利

◎議案第46号、第48号、第50号は原案のとおり可決すべきものと決しました。

「塩竈市営汽船事業条例の一部を改正する条例についての要望意見」

○市営汽船の障がい者運賃割引制度は、関係機関と連携し、対象者へ直接の事業周知を検討されたい。

「塩竈市環境美化の促進に関する条例の一部を改正する条例についての要望意見」

○市はインバウンドの推進に伴う外国人旅行者に対し、多言語によるごみの排出方法を周知し、旅館・ホテル営業の事業者への支援を行われたい。

「一般会計補正予算要望意見」
○東日本大震災復興交付金基金費は、子育て支援施設敷地関連取得事業に係る復興交付金申請額の積立だが、海岸通

地区の再開発事業で事業計画の変更が発生した際は、議会と情報共有を図り、再開発組合へ一層の支援をされたい。

○西塩釜駅自由通路エレベーター整備事業は、無人駅であるJR西塩釜駅の防犯対策に配慮され、また、駅舎や自由通路等が老朽化しており利用者の利便性向上のため、関係機関と協議等されたい。

○浦戸諸島海岸清掃事業は、住民の清掃活動への一層の支援に努め、ボランティア活動への支援や清掃活動を推進するイベントを拡充し、浦戸諸島の持つリフレッシュ空間としての可能性を研究し、交流人口の拡大に寄与されたい。

また、海岸漂着物の発生抑制を図る対策のさらなる強化に努められたい。

常任委員会傍聴のお知らせ

常任委員会は、申込み手続を行うことにより傍聴することができます。

一般傍聴人の定員は7人となつています。傍聴人は、「委員会傍聴に関する留意事項」を厳守して傍聴していただくこととなります。

詳しくは議会事務局まで。
(電話 35516793)

討 論

6月26日の本会議において討論を行いました。その概要は次のとおりです。

議案第49号及び第50号

反対討論 議案第49号について、反対理由の1点目として、市長は、平成32年度まで公共施設再配置計画個別計画を策定し国の補助制度を受けるとされたが、計画では、これが一切示されていない。

党市議団が知り得た情報では、今年度、国においては、公共施設等適正管理事業費が

1300億円増額され、公共施設等適正管理事業費の活用によって、普通交付税措置率が30%から最大50%まで引き上げられるとのことだが、このような財政措置について市からの説明はなかった。また、いかに減らすかという観点ではなく、国の財政措置等を生かして今後の方向性を考えるべきであり、市民や公共施設の職員等の事情も含めて、さまざまな視点で公共施設等での市民サービスのあり方について考慮すべきと考える。

2点目は、当該計画は市民生活への影響が非常に大きいものであるにもかかわらず、審議会の委員の任期は平成31年3月末までの9カ月程度と余りにも短期間であり、十分な審議ができるのかと懸念する。

3点目は、今後、社会情勢等の変化で、新たな施設の設置等が求められた際に、計画に沿っていないということに理由に住民の要望が届かないことを懸念する。

そして、新浜町保育所の廃止移転についても、のびのび塩竈っ子プランで決めた廃止の方針に縛られ、市民にも地域にも説明不足でこれを進め

で、建築士、会計士、行政学者等による耐用年数の精査及び施設の減価償却期間を加味した検証、将来の指定管理者制度移行への是非、民間委託の効果、公民連携の可能性、統合化、複合化、廃止等を総合的に判断するものである。

一方、当該審議会は再配置計画という公共施設全体の将来的な方向性を示す基本計画を審議する機関であり、施設ごとの具体的な計画は、別途、個別施設計画での議論となる。

また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

ながら、必要な施策については積極的に実施すべきであり、総務教育常任委員会においても、その時々々の行政需要については、適宜対応していく旨の当局答弁がなされていることからも、審議会からの答申を金科玉条のごとく振りかざし、行政が一方的に進めるものではないと理解する。

賛成討論 議案第49号について、今回、公共施設の客観的なデータ、公共施設資産台帳に基づく減価償却費の推移、老朽化や耐震度、利用率、フルコスト、維持管理経費等をベースとして、今後30年間の公共施設全体の方向性を示しながら、財政健全化のための基本的な指針を設定するため、公共施設再配置計画（素案）

が取りまとめられた。

審議会はその素案に対して、専門的な知見からの調査・検証を行うものであり、客観的なデータに基づく発想が必要

次いで、議案第50号について、当該補正予算は、生活保護基準の見直しに伴う生活保護電算システム改修のための予算であり、全国全ての自治体において同時に実施されるものである。

そして、今回、生活保護基準の見直しは、客観的な経済指標に基づき、一定の受給者の方々への影響も最大限考慮されており、国の社会保障審議会に所属する生活保護基準部会において、世帯への影響に配慮し、検証結果を機械的に当てはめることのないよう指摘されたことを踏まえ、多人数世帯や単身高齢者世帯等への減額影響が大きくならないよう配慮されている。

また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

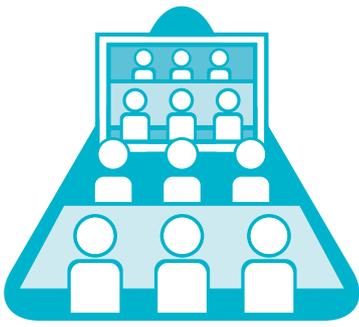
また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

また、最上位計画である長期総合計画との整合性を図り

※議案名は10ページの一覧表を参照下さい。

市政に対する 一般質問



市政に対する一般質問は、6月21日、22日の2日間に8人の議員が行いました。ここでは質問の中から2つ取り上げて、その要旨を掲載しています。なお、各議員が行った質問の項目も掲載しています。



公明党
小野 幸男

ひきこもり 支援策は

議員 内閣府の調査によるとひきこもりの長期化と高年齢化が顕著となっている。問題は、ひきこもりを抱えている親がすでに高齢となり、本来親の世代が年金の受給など社会保障の恩恵を受けることになっ

ているはずが、子供が社会復帰できず、不就労の状況が続く、果ては生活困窮に至ることが考えられる。本市の引きこもり支援への取組について伺いたい。
市長 ひきこもりの期間7年以上が35%と長期化しており、保健センターでは、地区担当の保健師が家庭での状況や悩みなどを詳しく聴取し、必要に応じて訪問等の相談に応じている。また、生活保護や就労支援などの関係部署と連携し、医療機関や県が実施するひきこもり相談等の各種相談機関、自立相談支援事業等の

専門機関への紹介を行い、個々人の個性に応じたケアについて相談を行い、早期の社会復帰に向け、勇気を持って一步を踏み出せるよう取り組む。

また、関係職員に様々な研修等を通して、ひきこもりの支援に携わる人材としての資質の向上等を図っていく。

生活困窮者自立 支援制度は

議員 生活保護に至る前の生活困窮者を支援する「生活困窮者自立支援制度」が平成27年4月より施行された。
①制度のきめ細やかな周知



生活困窮者自立相談支援を周知するチラシ

②関係部署や関係機関との連携強化による早期発見・早期支援の体制構築など自立相談支援事業の充実
③相談した後の出口戦略として重要な任意事業、特に就労準備事業と家計相談事業の実施など、これまでの取り組みと成果について伺いたい。また、施行後3年後の規定を踏まえ改正法が成立しているが、生活困窮者自立への体制強化を伺いたい。

市長 ①吾番館庁舎に窓口を設置し、生活困窮者の相談業務を行っており、広報紙やチラシ、民生委員の協力により制度を周知し、平成29年度は117件の相談があった。また、訪問相談による支援も実施している。

②新たに関係機関で構成する連絡会議を設置し、生活困窮者の早期発見、早期支援に努める。
③自立相談支援事業で支援員を配置し、一般就労に向けて就労自立のためのノウハウのアドバイスの支援等を行っている。また、支援計画を作成する上で生活困窮者の家計の状況を見える化し、今後の家計管理の意欲を引き出す等の支援に一体的に取り組む。



市民クラブ
菊地 進

事業のスクラップ &ビルドは

議員 ビルド（新規事業）のために何らかの事業を縮小・取り止めるという決断に至る議論をされ、あるいは、類似の事業を統合する等の議論、意見交換をどのように実施されたのか。
庁内での調整があったのか伺いたい。

市長 長期総合計画に関連する主要な事業について、平成23年度以降で14事業・約3億2000万円をスクラップし、その分は新たな事業等に充当した。

事業の選定は、国の予算動向や市の財政見通し等も踏まえ、各部署からの事業提案に基づき、議論した。
各課からの提案を部内で審議し、重要施策等は、最終的に庁議に諮り、職員の意識を統一して、取り組んだ。
新規事業の立ち上げについ



社会を明るくする運動街頭啓発出発式

法務省が推進する再犯防止推進計画は

では、担当各課でその必要性、重要性、市民のニーズ等を議論し、各部で審議した中で、重点施策等は庁議での議論の結果として、決定する過程をたどっている。
スクラップアンドビルドによる費用対効果の意識としては、最小の投資で最大の効果が上げられる視点が一番大切と考える。

議員 犯罪のない明るい社会を目指して活動している協会・団体に対して安心して活動できるように、塩竈市とし

ての再犯防止推進計画の策定をお願いしたい。

市長は、宮城県市長会の会長という重責を担っている中で、ぜひ県市長会の会長都市である塩竈市が地方版の再犯防止推進計画を県内初の明文化をしていただこう、市長の決断をお願いしたいが、見解を伺いたい。

市長 再犯防止について、残念ながら検挙者の再犯率が平成28年では48・7%と大変高い状況であると認識している。再犯率を低下させるため、地域全体として意識を持って取り組んでいかなければならないと考えている。

本市では、再犯防止の対象となる方々の人数、年齢構成、どのような支援を必要とするのかといったことを、まずは前段階の整理をしっかりとしていきたい。

その上で、国や関係機関とのさまざまな情報提供を行いながら、再犯防止計画についても取り組みたいと考える。

その他の質問項目

- ① 税の基本的な考え方は
- ② 福祉は
- ③ 浦戸の振興は

市政に対する一般質問



市民クラブ

鎌田 礼二

塩竈市の財政は

議員 東日本大震災から7年が経過し、公共施設が増加したが、今後、人口減少と少子高齢化により市税が減少し、扶助費等の増加も見込まれる。施設等の維持費が増大し、今後、苦しい財政状況が続くと危惧する。市税を増加させるためには、近隣にない人口増加策が一番有効である。

また、過去10年間で一般会計から市立病院への繰出金が約70億円にも上り、年平均約7億円となる。市立病院を売却し、毎年的一般会計繰出金を塩竈市の人口増加策に充て、市税の増加を図るべきと考えるが市長の見解を伺いたい。

市長 本市の財政状況について、地方債の残高は着実に減少傾向にあり、財政調整基金の残高も増加傾向にある。今後の財政の打開策は、歳入の根幹となる市税を増やすこと



塩竈市立病院

が一番の課題であり、定住人口の増加はご指摘のとおりである。基幹産業の振興が大きな要素であり、新たななりわいの創出等に取り組む。

また、これまでも市立病院の果たす役割を議会に説明してきたが、公立病院として市民の大切な健康を守ることが与えられた使命と考える。

市民の安全安心は

議員 各町内会では、防犯灯の電気代や修理代の負担が大きくなり、町内会運営が大変な状況にある。市が進めるLED化の補助事業では、全灯L

ED化まで7・8年もかかり、早急に市費で全灯をLED化すべきである。また、昨今、防犯カメラにより犯罪事件が解決した事例が数多く、犯罪の抑止効果も大きいことから早急に設置すべきである。市の設置が困難であれば、ドライブレコーダーや公道側も撮影可能な家庭用防犯カメラ設置に補助制度を創設すべきだが、見解を伺いたい。

市民総務部長 市内49000灯の防犯灯のうち、31000灯は将来的にLED化等が必要であり、5年間で年間400灯ずつ整備する補助制度を設けた。各町内会の必要性やエリア等を考慮し、町内会の所有物に助成する当初の計画どおり進めたい。

防犯カメラは、本市で地域安全まちづくり推進会議を設置し、議論している。今後、議論を深め、関係機関と協議し、ドライブレコーダーや家庭用防犯カメラへの補助を行っている自治体の先進事例も研究しながら、総合的に条例等の整備を検討したい。

その他の質問項目

- ① 広域行政は
- ② 勝面楼は



市民クラブ

志子田 吉晃

松くい虫の対策を

議員 日本三景の象徴である松の木が無残に枯れている。

このままでは、松の木が主役でなくなり、単なる島になることを危惧する。このことを踏まえ、次の2点について伺いたい。

①松くい虫対策事業の概要について。

②現在の取組で十分か。

市長 ①松島湾内の松くい虫対策の基本的な取組については、被害を未然に予防するための薬剤散布、松くい虫の寄生を抑制する薬品を樹枝に注入する樹幹注入、既に寄生された松くい虫の発生源となってしまう松の木を伐倒駆除対策、以上、3通りの対応策をとっている。

②松島湾内において伐倒駆除を行った被害木数については、平成24年度の2万2111本に対して、平成28年度にお



松くい虫の被害が懸念される馬放島

外国人労働者の受入態勢は

では、1万590本と47%まで減少しており、徐々に松くい虫の被害が減少しているものと考えられる。一方で、一つの地域が駆除を行うと、他の地域に松くい虫が移動してしまいうため、地域全体としては被害の終息に至っておらず、今後は、二市三町で連携した対策等を検討したい。

議員 少子高齢化による人口減少と労働力不足が続いており、今後、本市においては、積極的な外国人労働者の受入が必要と考える。

このことを踏まえ、次の3点について伺いたい。

①市内の外国人の就労状況

②外国人の受入態勢

③現状の支援策

市長 ①実習生の受入企業数は34社で実習生の数は約350名である。これに加え、市外在住の留学生アルバイトの方々が約50人、その他永住者などが約70人であり、市内全体で470人の外国人の方が本市で就労している。

②受入企業では、花見や祭り見物、着物の着つけ体験等、日本文化に親しむ機会を設けられており、また、日本語講座を開設している民間団体もある。さらに、成人式にはインドネシアの実習生の方に民族衣装を着て出席いただいた。③市としては、地域との交流促進が必要であると認識していることから、今後、民間事業者の方々の協力等を得ながら、地域文化に数多く触れられる機会の創出について検討したい。

その他の質問項目

- ①入札制度は
- ②国保医療費の適正化を
- ③受動喫煙防止対策を など



オール塩竈の会

西村勝男

マリンゲート塩釜の経営は

議員 マリンゲート塩釜周辺では、駐車場や防潮堤、津波防災センターなど、新たな施設が整備されつつある。マリ

ンゲート塩釜の指定管理者である塩釜港開発株式会社の筆頭株主として、市は今後の経営打開策をどう考えるか。

また、中小企業庁が実施する、経営者の相談窓口「よろず支援拠点D.A.T.E Biz (ダテビズ)」に相談してはいかがか。市の見解を伺いたい。

副市長 マリンゲート塩釜の指定管理者である塩釜港開発株式会社では、テナント誘致のため、県内各企業への訪問、不動産情報の提供などを行っている。また、海にちなんだ体験型イベントを毎月実施するなど魅力ある施設づくりを進め、旅客船利用者以外の集客にも

努めている。経営の改善策については現在、会社を挙げて検討しており、市・県も相談に乗るなど取り組んでいる。

経営相談等については、今後、商工会議所が実施する経営相談等を受けながら補助制度等を活用するなど、会社の経営改善に努めたい。

しお彩テラスは

議員 千賀の浦緑地の野外施設「しお彩テラス」の設置目的として、マリンゲート塩釜から鹽竈海道への結節点、各種イベント利用となっている



利活用が期待される『しお彩テラス』

市政に対する一般質問

が、これまでの利用状況はどのようなになっていくか。

また、利用料金を初め、使用できる設備の紹介や、受付窓口の案内など市民に対するPRが不足していると考えますが、今後の利用計画等について伺いたい。

都市計画課長 利用状況については平成29年度で9団体、1万2000人の利用となっている。

現在、周辺の防潮堤工事も一定のめどが立ってきており、今後はシオームの小径を含めた、マリゲートからの動線を活かし、海辺一体を活用してまいりたい。

しお彩テラスの利用については、市内の方のダンスや音楽活動等の利用に加え、本塩釜駅から3分という立地条件や海辺のウォーターフロントの開放された空間という点を活かし、仙台エリアをターゲットに入れて、日本酒フェア等を開催し、市外からの観光客を呼び込めるような取組を検討したい。



オール塩竈の会
阿部 かほる

施設管理のアウトソーシングは

議員 本市は厳しい財政状況を改善するため、施設管理の外部委託を進めているが、これまでの取組と今後の指定管理者制度の課題について伺いたい。

また、市有財産全体の管理・運営業務の効率化を図るため、組織内部の横断的な連携強化が必要と思われる。本市の現況と取組について伺いたい。

市長 これまで、行財政改革の中でさまざまなアウトソーシングに取り組んできたが、その手法の1つとして指定管理者制度を導入している。

これは、行政サービスのさらなる向上と、最小限の経費で最大の効果を上げる、コストメリットの増大が目的であり、利用者の増加及びさらなる市民サービスの向上、コスト削減が課題である。



干潟の復旧が急がれる浦戸諸島

水産環境整備事業は

議員 浦戸地区では震災による地盤沈下、海底の土砂の流出によって、干潟の大半が著しく減少し、アサリの漁獲量は年々減少し、今年度は壊滅

的な結果となっている。宮城県では震災により地盤沈下した干潟を復旧し、漁場環境の保全を図るとして、浦戸地区2カ所の干潟を復旧している。アサリ育成所（干潟）整備事業の概要について伺いたい。

今後の観光の在り方は



つなぐ会
土見 大介

議員 本市の観光施策の今後の方向性において、何を塩竈の魅力として認識し、どのようにいかしながら、多くの観光客に足しげく塩竈へ来ていただくようと考えているのか。

また、観光の主役は地域の住民や事業者の方々と考えますが、そういった方々の活動をどのようにして支え、育てていくのか見解を伺いたい。

市長 本市は、古い歴史を持つまちであり、そこに暮らした続けた方々の気質や鹽竈神社を代表とする文化、自然豊かな浦戸諸島や食などが本市の魅力であると考えます。

また、行政だけでは、観光振興の担い手がまだまだ不足しており、観光振興ビジョンの策定においてもワークショップにご参加いただいた各層各界の方々と自由闊達に意見交換を行った。さらに、無料の

その他の質問項目
①船着き場の整備を
②生活安全の推進を
③学校教育の充実を
など

その他の質問項目
①終活支援事業は
②私道等の整備を
③零細企業への支援を
など



住民主体のまちづくりを

観光ガイドの方々定着できるように支援を行うことが大切であり、観光振興ビジョンをより推進できるような人材育成に努めてまいりたい。

産業環境部長 今後も本市の自然・歴史等と旅行商品との組み合わせや、まち歩き等に着地型の観光を充実させる取組を継続してまいりたい。

浦戸振興策は

議員 浦戸振興には、安定した住環境の整備となりわいの確保が欠かせないと考える。住環境の整備については、離島における高齢者の暮らし

やすさや、移住者の住居をどのように確保するのか。

また、なりわいの確保については、従来の漁業に加えて、新産業の創出や島外での就業を可能にするための交通手段の確保も必要と考えるが、見解を伺いたい。

市長 浅海養殖漁業は、後継者が不足していると認識している。1次産業の6次産業化を地域全体として達成できるような取組に努めたい。

建設部長 災害公営住宅の空き住居等を活用し、浦戸への移住を希望する方々の住居の確保に努めてまいりたい。

健康福祉部長 高齢者のサポート体制については、今年度より浦戸地区で介護サービスを行了った事業者に対して介護報酬の上乗せを実施するほか、既存の施設を活用し、介護保険サービスの事業所を浦戸に誘致するための見学会や説明会を予定している。

産業環境部長 市営汽船の最後の1便を増便することについては、関係団体等と運航調整等を含めた今後のあり方を検討したい。

- ① 公共施設の利活用は

市政に対する一般質問



日本共産党 塩釜市議員 曾我三三

公共施設等総合管理計画は

議員 公共施設等総合管理計画は、公共施設の概ね24%縮減が目標である。

公共施設再配置計画審議会が設置され、審議会の答申が事実上の市の方針になると考えるが、他市の事例のように計画に縛られ市民の要望を実現することへの足かせとなることはないか、また、多賀城市の管理計画の方針は、補助事業の拡充や拡大・地方債を活用し、施設ごとの個別計画と併せて管理を行うものであり、本市の縮小や統合が先行するスタンスとなぜ違うのか市長の見解を伺いたい。

市長 自治体が施設の修繕や補修に対する国からの補助金等を受けるためには、平成32年度までに個別計画を策定し、国に提出することが義務付けられていることから、本市では、国費を最大限に活用する

ために本市の公共施設再配置計画は、個別計画を作ること前提に作業を行っている。学校等は建設から30年、40年が経過している施設もある。児童生徒の数が減っていることにより、建設時と現状では規模が異なる施設は、学校活動を行うのに支障のない範囲で縮小する。

保育問題は

議員 保育問題について次の4点について伺いたい。

①子ども・子育て支援事業計画の中間見直しの際に市民のニーズ調査を行ったのか。



廃止が予定されている新浜町保育所

②子ども子育て会議での委員長の「新浜町保育所の廃止に伴い地域の子育て環境をどのようにサポートしていくか検討してほしい」という発言への対応について。

③石巻市の水産関係者が保育所を開設したが、市が水産関係者に働きかけてはいかがか。

④小規模保育事業所に入所する児童の3歳以上の保育の受け皿となる連携施設はどこか。

健康福祉部長 ①ニーズ調査ではなく、人口動向の推移や実績等から算出している。

②企業主導型保育事業等の民間が進めるさまざまな保育所の整備手法について、新浜町地区の水産業の組合の方々への相談を行い、説明会も開催した。

③企業主導型保育事業は、施設の整備費のほか運営費も国や県から助成を受けられる施設となっている。新浜町地区の会社も検討いただけている。継続して説明を行っている。

子育て支援課長 ④事業者が設置する幼稚園を検討していると聞いている。

- その他の質問項目
- ① 浦戸の振興策は
- ② 災害公営住宅家賃の軽減を

議案等賛否一覧表

○：議案等に対して賛成 欠：欠席
 ×：議案等に対して反対 /：議長は採決に加わりません

| 会議名 | 議案番号 議案名 | 会派名 議員氏名 | | 日本共産党 塩竈市議団 | 公明党 | | | 市民クラブ | | | オール塩竈の会 | | | つなぐ会 | | 審議結果 | | | | |
|-----------------------|------------------------------|---|------|----------------|------|------|------|-------|------|------|---------|-------|------|-------|------|------|------|------|------|------|
| | | 曾我ミヨ | 伊勢由典 | 小高洋 | 浅野敏江 | 小野幸男 | 菅原善幸 | 菊地進 | 志賀勝利 | 今野恭一 | 鎌田礼二 | 志子田吉晃 | 香取嗣雄 | 阿部かほる | 西村勝男 | | 阿部眞喜 | 伊藤博章 | 山本進 | 土見大介 |
| 6 月 定 例 会 | 議案第44号 | 塩竈市市税条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第45号 | 東日本大震災による被災者に対する国民健康保険税の減免に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第46号 | 塩竈市営汽船事業条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第47号 | 塩竈市環境美化の促進に関する条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第48号 | 塩竈市営住宅条例の一部を改正する条例 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第49号 | 塩竈市公共施設再配置計画審議会設置条例 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第50号 | 平成30年度塩竈市一般会計補正予算 | × | × | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第51号 | 工事請負契約の締結について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| | 議案第52号 | 農業委員会の委員の任命について | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 同意 |
| | 議員提出 議案第2号 | 障がい者及びひとり親家庭を対象とした医療費助成制度における国民健康保険に係る国庫負担減額調整措置の廃止及び医療費助成制度における現物給付方式への導入推進を求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 |
| 議員提出 議案第3号 | 〔核兵器禁止条約〕に署名し、批准されることを求める意見書 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 原案可決 | |

表彰

平成30年5月30日、開催されました、第94回全国市議会議長会定期総会において、次の方々が表彰されました。

◎特別表彰

(正副議長8年以上)

香取 嗣雄

(議員在籍35年以上)

曾我 ミヨ

◎一般表彰

(議員在籍10年以上)

志子田 吉晃

次回の定例会は
9月10日(月)
 午後1時開会予定です

定例会傍聴のお知らせ

定例会は、年4回(2月・6月・9月・12月)開催されています。本会議は、一般に公開され、どなたでも傍聴できます。傍聴をされる方は、市役所(本庁)4階の傍聴席へお気軽においでください。

詳しくは、議会事務局まで。
 (電話 35516793)

編集後記

大阪北部地震に続く「平成30年7月豪雨」により西日本の各地では甚大な被害が発生しました。

亡くなられた方々に謹んで哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。

東日本大震災により塩竈市が被災した際には、全国の皆さまからたくさん温かいご支援をいただきました。

被災地の1日も早い復興を祈念し、できる限りの支援に努めてまいります。

議会報編集委員会

委員長 山本 進

暑中お見舞い申し上げます

平成30年盛夏 塩竈市議会議員一同

公職選挙法の規定により、議員は選挙区内で、答礼のための自筆によるものを除き、暑中見舞いを出すことが禁止されています。

市民の皆様のご理解をお願いいたします